



明けまして おめでとう ございます 🍀

2025年が スタートしました！

今年も 清らかに澄み渡る青空の中、明るい陽の光が美しく輝く とても暖かな元旦でした。けれども 今回はやはり1年前の あの衝撃がよみがえり、16時10分 能登へ想いを馳せ、静かに祈りをささげました。きっとあの日、私と同じように新たな年の初めを喜びの中で迎えていたことでしょう。そのわずか数時間後に突然襲ってきた恐怖は 笑顔と希望を奪い深い悲しみと大きな不安と共に過ごしてきた1年、今 お正月を迎えられた皆さんのお心はいかばかりかと 胸が痛みます。神様のなぐさめと励ましが ますます豊かにありますように皆で祈りつつ、これからも 自分達ができることを尽くしていきたいと心から思っています。この日本にとって、どんなに時が経とうとも“涙と共に在る元旦”を 忘れてはならないと思います。昨年のクリスマスに皆さまからお寄せ頂いた献金は、能登半島の復興に、特に子ども達のために役立てて頂けるよう 送りたいと考えています。どうぞご理解ください。

さて。昨日の朝、長い冬休みを終えて 久しぶりに登園してきたつのぶえの子ども達は皆ほんとうに元気いっぱいでした。明るい笑顔で「あけましておめでとうございます！」とお互いに挨拶をし合う一人一人の姿は とても頼もしく感じ、何だかまぶしいくらいでした。全体礼拝では お休み中のことや家での様子を分かち合ったり 3月までの日々を考えたり「4月になったら いるか組が小学校へ行っちゃうから それまでにいっぱい遊ぼうね」と今年度が もう残り少ないということを皆で確認合って 驚き合ったり 寂しがったり…。そして、保育園での今日からの毎日、神様に守られて 皆が元気に楽しく過ごせますように何よりも ひとりひとりがお互いのことを大切に想い合って“仲よし”でいられますようにその願いを込めて、両隣りの人と手をつないで その手の温もりを静かに感じ合いました。

『あなたがたは、互いに愛し合いなさい。（新約聖書 ヨハネの福音書 13：34）』

イエス・キリストは 十字架につけられる前夜、愛する弟子達の汚れている足を洗った後人が人として互いに仕え合うことの必要さを諭されました。それから その後に続いたのが上記の、人が優しく在るための言葉、人として 私達には 最も難しく 最も貴い戒めでした。今年1年の つのぶえ保育園の御言葉として、子ども達と先生達と一緒に 心に覚えながら愛することの意味を想い、行いに変えて歩んでいきたいと願っています。

今年こそ 戦争を終えることができますように…

世界の平和と 世界中の子ども達の 心の平安と幸せが 安らかに守られますように…

つのぶえの子ども達、巣立っていった子ども達もすべて、一人一人の上に豊かな祝福を…心から祈りつつ、職員一同 心を重ね、力を合わせ、精一杯 尽くして参ります。

本年も どうぞよろしく お願い申し上げます。

（石田 記）